

ホリエメールで最近話題の電子メール。

どうやら偽物だったようですが、これほどマスコミ等で電子メールが取り上げられたのは珍しいことだったと思います。そこで、

本当は怖い電子メール！？

というほどのものでもありませんが、最近特に増えたスパムメールの仕組みと、トラブルを避ける方法を考えてみたいと思います。



キューブ殿

(一緒に並んでくれるお姫様募集中)

スパムメールはなぜ届く？

不特定多数の人に一方的に送りつけられるメールをスパムメールといいます。最近爆発的に増加し続けていて、アメリカでは流通している全メールの90%、日本でも50%近くを占めると報告されています。

内容は、違法コピー製品の宣伝やアダルトサイトの勧誘などが主。ただ、悪質なものはウィルスを送りつけたり、フィッシングと呼ばれる犯罪行為に利用されることもあります。

このメール、なぜ頼んでもいないのに届くのでしょうか。

- ・怪しげなサイトに登録したから？
- ・どこかでリストが流出したから？

思い当たる方にはそれもありそうですが、スパムにはもっとずる賢い仕組みが利用されています。その一つが「アドレスハーベストアタック」です。宛先のメールアドレスを、専用のソフトウェアを使って乱数的に発生させ、ありとあらゆる組み合わせで作ります。そして、そのアドレスにメールを送付しエラーが帰ってこなかった = 使用されているアドレスがリスト化されて、スパムの送付先となるのです。また、ネット上でメールアドレスだけを収集する「検索エンジン」も存在します。要はこのどちらもコンピュータプログラムで、不眠不休で宛先のメールアドレスを探し、リストを作り続けるというわけです。

ということですので、身に覚えのないメール疑惑をかけられた方は、そう説明して疑いを晴らされてはいかがでしょうか。

メールのトラブルを回避するには？

左のような理由から、スパムメールが届かなくすることはまず不可能です。ともかく、無用なトラブルを避けるには、送り主不明のメールは開かないことです。仮に開いたとしても、絶対に返信してはいけません。メール送信の中止を依頼する方がいらっしゃいますが、相手の思うツボです。返信したアドレスは反応率の良いアドレスのリストに追加され、ネット上で売買され、より多くのスパムが送りつけられることになります。

また、ウィルスが添付されている可能性のあるメールに関しては、下のような拡張子のファイルがあったら、絶対に開かないでください。ダブルクリック後、まず感染します。

.exe .bat .scr .pif .com

近頃は、右の「動画.wmv.exe」のようにアイコンや拡張子も偽装して、動画ファイルを装う巧妙



な手口も報告されています。無視してどんどん削除しましょう。

最近被害が増えているフィッシングにも注意が必要です。これは金融機関などからの正規のメールやサイトを装って、期限延長などを理由に暗証番号やクレジットカードの番号を盗み出す詐欺行為です。対策としては、送信欄を信用しない、暗号化がなされるかを確認する、などがあげられます。しかし、基本的には個人情報を要求するメールは疑ってみることです。しかし、どうしても気になる場合は、自分から本物のサイトにアクセスして、メール内容が事実かどうか確認されると良いでしょう。

本当にスパムメールにいちやけたら

スパムメールによる企業の損失は無視できないものになるといわれています。メール数が増えることによって、サーバやインフラの使用率が高まり、通常の業務が滞った場合、機能アップの為に投資は数十万円単位になります。また、スパムメールを削除する手間も、たとえ数分とはいえ、1年間に換算したら1人につき何万円かの損失になるでしょう。

ただ、スパムメールが届かなくするのは無理ですが、減らすことはできます。例えば、スパムの送信元のアドレスやキーワードをメールソフトに登録し、自動的に削除するよう設定することで多少は減らせます。しかし、スパムのアドレスもまた自動的に生成され、次の日には違うアドレスで送り付けられるので、イタチごっこということになります。いずれ、アドレス等の登録作業に疲れ、毎日黙々と削除するだけになるでしょう(私がそうでした)。

そこで、近頃はアンチスパムソフトを導入する方が増えてきました。これは、こまめに更新されるスパムのアドレスを元に、スパムメールやスパムの疑いの高いメールを自動的に削除するソフトです。各社様々な機能を競っています。もしスパムとの戦いに疲れ切ってしまったら、導入を検討されてみてはいかがでしょうか？(高)

お問合せはこちら

株式会社
アイ・シー・キューブ

〒310-0021

水戸市南町3-3-43

小林ビル5F

TEL 029-228-0116

担当：

大好評『利益が増えるIT戦略セミナー』
今回は「眠った顧客が目覚めます！」

詳しくは
ホームページでご確認ください
http://www.ic3.co.jp 『セミナー案内』